

# 仕 様

| 定 格 電 圧 | 周 波 数       | 消 費 電 力 | 適 合 ラ ン プ            | 保 安 球                  |
|---------|-------------|---------|----------------------|------------------------|
| 交流100V  | 50Hz-60Hz共用 | 68W     | FCL40/38<br>FCL32/30 | ナツメ球5W以下<br>(口金 : E12) |

## アフターサービス

●もし、器具に異常が生じた場合は直ちに電源を切り、お買い上げの販売店に器具の形式(器具銘板に表示してあります。)故障状況を連絡の上、修理を依頼してください。

**日立ライティング株式会社**

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2  
電話 (03)3255-5256

ミシン目から切り取り、この保証書付取扱説明書を大切に保管してください。

2007.09 KTA15849-D R0

## 取扱説明書

## 日立蛍光灯器具

**HITACHI**  
Inspire the Next

保 存 用

このたびは日立蛍光灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

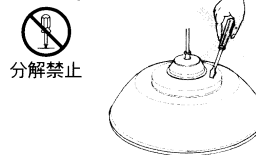
●この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

## 安全上のご注意

### 警告

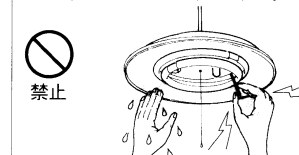
■器具の改造、構成部品(ソケット・スイッチなど)の交換はしない。



分解禁止

\*火災・感電・器具の落下によるけがなどの原因となります。

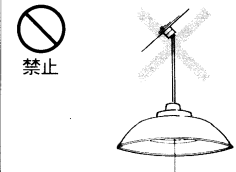
■器具や蛍光灯に水滴をかけたり、器具のすきまに金属(ヘアピン・針金など)を差し込まない。



禁止

\*感電・故障の原因となります。

■傾斜した場所には取り付けない。



禁止

\*器具の落下によるけがの原因となります。

■このような配線部品に取り付けない。

\*火災・感電・器具落下によるけがの原因となります。



破損しているもの



ガタつくもの



電線が露出しているもの

電気工事店(有資格者)に依頼して配線部品を交換してください。  
\*しるうと工事は危険です。また法律で禁じられています。

### 注意

- 定格電圧 交流100V以外で使用しない。  
\*過熱し、火災の原因となります。
- 浴室などの湿気の多い場所や常時温度の高い場所(35℃以上)では、使用しない。  
\*絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。
- 屋外で使用しない。(この器具は、屋内専用です。)  
\*火災・感電の原因となります。
- 調光器(当社商品名ライトロール)と併用しない。  
\*過熱し、火災の原因となります。
- 器具にボールなど物をぶつけたり、衝撃を与えない。  
\*器具の落下によるけがの原因となります。

- 器具の真下にストーブなどを置かない。  
\*過熱し、火災の原因となります。
- スイッチ引きひもを強く引いたり、無理な力をくわえない。  
\*器具の落下によるけが・スイッチ故障の原因となります。
- 器具を布や紙などで覆わない。  
\*過熱し、火災の原因となります。
- お手入れの際や、蛍光灯などの交換の際は、必ず電源を切る。  
必ず守る \*電源を切らないと、感電の原因となります。
- 点灯時および消灯直後は、蛍光灯が熱くなっているので触らない。  
接触禁止 \*やけどの原因となります。

### このようなことにもご注意ください

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが動作しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ他の家電品を器具から離してお使いください。
- 周囲温度5℃以下では、点灯しにくいことが、ごくまれにあります。

# 各部の名称と使いかた

取り扱いを説明するため、一部省略抽象化した共通図を使用しています。

## 器具を取り付ける前に

●天井にこのような配線部品がついている場合は、ご家庭でも手軽に器具が取り付けられます。



●あたらに、配線部品を取り付ける場合は、電気工事店(有資格者)に取付工事を依頼してください。(しろうと工事は危険です。また、法律で禁じられています。)

必ず守る

## 電気工事店(有資格者)のかたへ

### 角形引掛シーリングボディの取付上のご注意

●電源電線を接続し、なべ皿木ねじ(2本)で野縁またはさお縁などの補強材のある所に取り付けてください。



\*補強材のないところに取り付けると、器具の落下によるけがの原因となります。

●引掛シーリングボディは、薄い天井には取り付けられない。

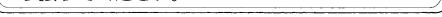
### 角形引掛シーリングボディへの電源接続方法

接続のしかた 適用電線・φ1.6、φ2.0単線

●電源電線をゲージに合わせて段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。

解除のしかた

●ドライバーを電線はずし穴に強く差し込み、電源電線を引っ張ってください。



## コードケースの取り付けかた

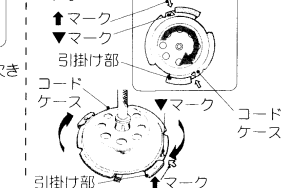
①本体のプラグにコードケースのコネクタをしっかりと差し込んでください。



②コードケースの切り欠きを、本体の引掛け部に合わせてください。



③コードケースの▼マークと本体側の▲マークが合うまで、矢印の方向に回して回し、引掛け部にコードケースを引っ掛けてください。



取りはずしかた  
コードケースを取りはずす場合は、ロック爪を押しながら矢印の方向にまわしてください。

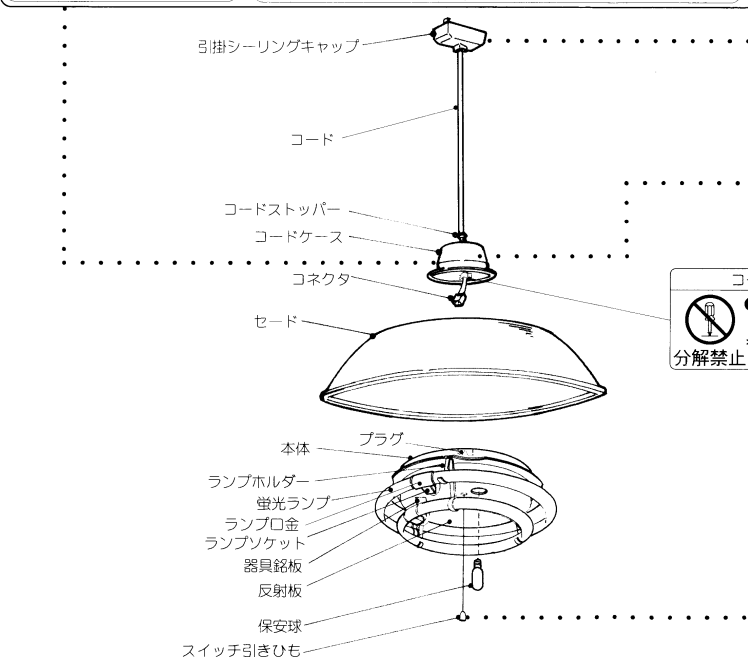


●接続が不完全な場合、火災の原因となります。

必ず守る

●確実に取り付けられているか、確認してください。  
\*取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

必ず守る



コードケースストッパー  
●落下防止部品の改造、取りはずしはしない。  
\*器具の落下によるけがの原因となります。

分解禁止

## 器具の取り付けかた

①本体に、セードを取り付けてください。  
②器具を持ち上げ、引掛シーリングキャップを天井の配線部品に差し込み、右方向に回して回してください。

●確実に取り付けられているか、確認してください。  
\*接続が不完全なまま使用した場合、火災・器具落下によるけがの原因となります。

●引掛シーリングキャップのはずしかた  
●押しボタン付きの場合  
●押しボタン無しの場合

●セードをはずす場合は、上記の逆の順序で行ってください。

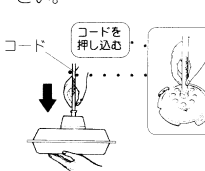
●器具を置く場合は、平らな場所に静かに置いてください。

必ず守る

## 器具の高さと向きの調整

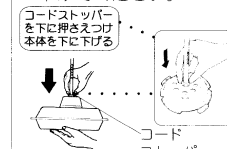
### 器具を上げる場合

コードを押し込んでください。



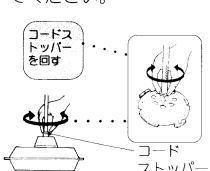
### 器具を下げる場合

コードストッパーを下へ押さえつけながら、本体を下へ下げてください。



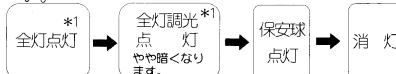
### 向きの調整

コードストッパーを回してください。



## 点灯順序

スイッチ引きひもを引いて、点灯順序をお調べください。(4段切り替えスイッチ付です。)  
●蛍光ランプ口金のピンが、ランプソケットに確実に接続されているか、お確かめください。  
●保安球がゆるんでいないか、お確かめください。



\*1: 所定の明るさになるまで、数秒かかることがあります。

### 蛍光ランプ交換の際は・・・

●蛍光ランプ交換の際は、必ず電源を切ってください。  
●蛍光ランプ点灯中や、ランプが切れて消えていても、通電されている状態でランプを交換した場合、交換した蛍光ランプが点灯しないことがあります。この際は、スイッチ引きひもを引いて一度消灯にした後、点灯確認を行ってください。

●蛍光ランプの口金を無理に回さない。  
●ランプホルダーやスイッチ引きひものつまみを、強く当たらない。  
\*蛍光ランプが破損し、けがの原因となります。

# お手入れのしかた

●お手入れの際や、蛍光ランプの交換の際は、必ず電源を切ってください。

\*電源を切らないと感電の原因となります。



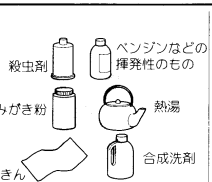
必ず守る

●みがき粉・ベンジン・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり、熱湯や殺虫剤をかけない。

\*割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。



禁止



●器具が虫やほこりなどで汚れましたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落としてください。汚れが落ちない場合は、柔らかい布を石けん水に浸してよくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

\*石けんとは、天然油脂を原料としたものです。(商品表示が「石けん」であることを確認してください。)

必ず守る

## ランプの交換時期について

●口金付近が全周にわたって黒ずみ明るさが低下しましたら寿命ですので、新しい蛍光ランプとお取り替えください。

●なお、調光で点灯した場合、比較的早い時期に黒い斑点が発生することがありますが、所定のランプ照度や寿命性能は満足しますので、そのままご使用ください。

●また、ランプが一本でも不点灯になりますと、すべてのランプは正常点灯しません。ランプはすべて同時に交換することをおすすめします。



●蛍光ランプは、適合品をご使用ください。

\*不点灯の原因となります。

●蛍光ランプ取り付けの際は、ランプソケットとランプ口金を確実に接続してください。(ランプのタイプは、反射板に表示してあります。)

\*接続が不完全な場合、火災の原因となります。